

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：先端産業担当
 内線：3735

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	先端産業実用化開発事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令				戦略項目	07 世界水準の中小企業		
						分野施策	030102 新たな成長を導く次世代ビジネスの振興		
1 事業の概要 ものづくりの場が海外に移転する中、国内に付加価値の高い先端産業を育成するため、研究機関や企業、大学等の先端技術や研究シーズ等を生かした実用化開発を国と連携して戦略的に進め、産業活性化、雇用創出、税収増加に結びつける。 (1) 先端産業研究サロン運営事業 7,230千円 事務経費の節減により生じた執行残の減 (2) 先端技術マッチング支援事業 9,377千円 事務経費の節減により生じた執行残の減 (3) 先端産業実用化開発事業 194,150千円 補助金交付額が当初の見込みを下回ることによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 先端産業研究サロン運営費 8,712千円 先端産業の実用化開発のテーマを選定するため、研究者等の集うサロンを運営する。 イ 先端技術マッチング支援事業 70,895千円 先端技術を有する研究機関等と県内企業のマッチング支援を行う。 (ア) 企業情報データベースの戦略的活用 (イ) コーディネーターの配置 (ウ) 県内企業向け先端産業参入支援セミナーの開催 (エ) アイデアソン・ハッカソンの開催 公募メンバーによる製品化へのアイデア出し、製品化する企業ネットワークの形成 ウ 先端産業実用化開発事業 408,678千円 先端技術を生かした研究開発への補助 (2) 事業計画 平成26年度～30年度 成長分野の選定、先端技術マッチング支援、製品開発支援 (3) 事業効果 理研や本田技術研究所、大学等の先端技術等を生かした新産業の育成・集積が図られ、県内産業の活性化、雇用創出、税収増加に繋がる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 理研や本田技術研究所、大学等の先端の研究機関や民間企業と連携を図る。 イ アイデアソン・ハッカソンにおいて、公募のメンバーによる製品化のアイデア出しを行い民間の活力を活用する。 (5) 補正予算の概要 (1) 先端産業研究サロン運営事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額 (2) 先端技術マッチング支援事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額 (3) 先端産業実用化開発事業：補助金交付額が当初の見込みを下回ることによる減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円									
				財 源 内 訳					
予算額		繰入金	諸収入					一般財源	補正後の 予算額
決定額	210,757	210,747	10						277,528
現計額	488,285	488,275	10						